



元気な高齢者の多い町 にのみや (ゆめクラブ芸能大会 10月10日)

湘南 にのみや 議会だより

平成26年
9月定例会
9/5～9/29

- ◆25年度決算に対する総括質疑に4議員 2～4 P
- ◆決算審査と討論..... 5～7 P
- ◆25年度予算審査意見とその後追跡 8 P
- ◆一般質問で4議員が登壇..... 12～16 P
- ◆この人紹介..... 18 P

12月定例会のお知らせ

12月17日(水)から開会の予定
本会議・委員会の傍聴できますーお気軽にどうぞー

総括質疑

25年度決算 4議員が登壇

第5次総合計画始動の年 重点施策に対し熱心な質疑

重点施策事業に

まちづくりを託せるのか

脇 正文議員



問 定住促進対策の推進として、情報発信はどこにどのように行ったのか。

町長 情報発信は十分にやっけてきている。町の魅力はある程度できている。もっとPRや宣伝活動を行い認識してもらおうべき。

問 ハンギングバスケットが演出した商店街景観、整備による波及効果は、どの程度達成できたのか。

町長 町は花だけをやっているのではない。先行きの計算もしてやっている。今、見事に花開こうとしている。

問 「子育て元年」をうたう町が、給食センター

の隣に剪定枝資源化施設を造ることは絶対反対。稼動後の問題点への対応には、万全を図れるのか。

町長 悪い影響が起きるような施設は、国または県が許さない時代になっている。そう簡単に給食

センターに影響が出るということはあり得ないの

で、心配しなくていい。

問 東大跡地利用の将来構想について考えを伺う。

町長 町全体がよくなる跡地開発計画を作るべき。私はそういう方向に行っ

てほしいと思っている。

問 町長の描く二宮の将来像、戦略的まちづくりとは何か。



剪定枝資源化施設と給食センターの
あいだには塀があるだけ

をしていかなければいけない。しかし、今までどうして産業をつくらなかったのかと思う。事業結果が出るのは3年、5年後。経過を見て、修正もしながらやっていくのが

戦略的行政ということ。今、残った町有地は正泉寺、国立小児病院跡地、東大跡地の3か所。公共用地の整理が私になってからの戦略的行政運営の一つ。これからは大きな土地をどう活用しながら町というものに対して効果を出していくかということをやっていくかなければいけない。

主要事業5項目について 成果と達成度を問う

近藤行宏議員



検証はできたのか。乗降場所の見直し、利用時間などの拡充はあるのか。

町長 運行開始1年後に課題の整理、検討をする。医療機関への運行は、大きな課題と認識している。公共交通全体で接続可能

なシステムを構築する。

未利用公共用地の検討

問 旧国立小児病院跡地や正泉寺の活用の方角性は結論が出たのか。

町長 子育て支援施策専門部会にて、具体的な事

問 東大果樹園跡地の恒久的利活用案の制定は任期中に、道筋をつけるべきだが、どうか。「定住促進計画」に沿っての事業の進捗度と高齢者と跡取り世代の定住対策への取り組みをどうするのか。

まちづくり総合調整事業

交通計画推進事業

問 デマンドタクシーの



防災コミュニティーセンターは
地区での管理運営へと移行すべきである

業種別について検討している。正泉寺は、吾妻山公園の来園者駐車場として活用を検討中。

駅周辺整備計画事業

問 J Rとの境界など、本格整備に向けた基本計画作成の進捗度はどうか。

町長 現段階ではJ Rとの境界は未確定である。既存計画を精査し、将来の交通量などを参考に策定を進めていく。

適正な公有財産管理

計画に盛り込む考えはあるか。名称の統一化は。

町民参加のあり方を まちづくり条例に盛り込め

根岸ゆき子議員



まちづくり条例

問 平成7年度に策定した都市マスタープランが改定される。25年度は中間報告書を作成した。制定を予定するまちづくり

条例との関係性は。また25年度に百合が丘峠公園の開発行為にかかわり住民運動が起きた。町長が直接住民と意見交換した経験からまちづくり条例には協議の場の設定や手法を明らかにする内容を盛り込むべきだが如何か。

戦略的行政運営

町長 都市計画マスタープランに沿った民間事業者への指導、協議のためにまちづくり条例がある。上位法が有効だが申請する時に業者がやりにくくなるという効果はある。

問 「戦略的行政運営」は効果をあげたのか。また、土地利用の方角、公共施設再配置計画基本方針は大きな存在なのに、なぜ説明から省かれるのか。

町長 コンビニ収納導入、人事評価制度の拡充、職員研修、行政評価のスピードアップ、広域行政による公共施設の相互利用、



峠公園隣接地は民間の所有
開発が心配される

PR大作戦の取り組みを進めた。「戦略的行政運営」といういかにも先鋭的な言葉だけれども、理屈が合わないかもしれないが苦勞して何とかしようとする努力している。

問 総合計画に基づき行革大綱に沿って戦略的行政運営を進める、という施政方針と、町長の答弁がずれている。まちづくり条例へのイメージについても答弁がない。

町長 改選を控え、ここで区切りとなる。町政運営はきちんとやってきた。

問 旧国立小児病院跡地は活用の検討が進まなければ、子育てに特化せず検証してはどうか。

町長 ITふれあい館を業務移転し建屋を託児所で使う話も出ているが、流動的になっている最中で言い切れない。きちんとした段階で発表する。

25年は総合計画初年度、 結果の検証と今後を問う

添田孝司議員



町長 旧国立小児病院跡地での保育機能を備えた子育て支援施設や駅周辺の保育施設設置等を検討している。今年度から妊婦健康診査の助成を拡大し、小児医療費について拡大も準備している。

共に知名度向上にも寄与し定住促進を担っている。日帰り観光と関連事業は他の定住促進事業と相乗効果を生む総合的な戦略で行うべきではないか。

町長 日帰り観光は町の

アピールに有効だ。子育て施策パンフレットの配布など取り組みを始めた。

都市計画マスタープラン

問 マスタープラン策定において、今後の公共施設の更新・再配置も考慮するのか。

町長 マスタープランには記載しないが、策定後公共施設再配置計画等関連計画と連携を図る。

健康寿命アップ施策

平成25年度は第5次総合計画初年度で節目となる事業が多かった。子ども育成課新設で少子化対策に着手し、老朽化に伴う公共施設更新問題が顕在化した年でもあった。施策や事業の検証をしつつ今後の町の考えを問う。

子ども子育て支援新制度

問 ニーズ調査結果では、教育・保育の需要に対する町の量の確保はできていない。子育て環境や支援に対する保護者の満足度も低い。改善に向けた計画を問う。

日帰り観光と定住促進

問 吾妻山公園等都市公園整備は、住環境の向上を図り、ブランド開発と



保育の量の確保が必要だ
(町立百合が丘保育園)

平成25年度 決算審査

公共施設の一元化や、 都市マスタープラン策定に議論白熱 地域公共交通の検証を求める

平成26年9月19日から
延べ4日間にわたり、決
算審査特別委員会を開催
し、慎重審議を行った。

決算審査特別委員会の
構成は次のとおり

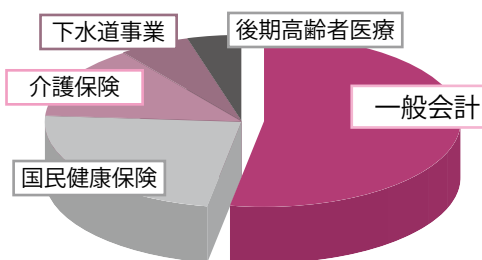
◎委員長 小笠原陶子
○副委員長 添田孝司
▽委員 杉崎俊雄
脇 正文 根岸ゆき子
近藤行宏 二見泰弘

◆委員会結果

協議員が一般会計に反
対討論。添田副委員長が
全会計に賛成討論を行っ
た。一般会計は1対5、
4特別会計は全員賛成で
認定された。

(単位は円)

会計名	歳入	歳出
一般会計	82億3,087万	79億5,093万
特別会計		
国民健康保険	36億 462万	35億1,387万
介護保険	21億 838万	20億2,612万
下水道事業	9億 881万	8億9,398万
後期高齢者医療	6億7,800万	6億5,210万



一般会計の

歳入82億3,087万円に対して
歳出79億5,093万円の使いみち▶▶▶

小動物園からシバザクラ園に リニューアル(吾妻山公園)



民生費	23億5,986万円	障害者・高齢者・児童などの福祉にかかる経費
衛生費	12億1,640万円	保健、環境保全、ごみ、し尿処理にかかる経費
総務費	11億7,476万円	住民登録、町税賦課、庁舎管理など行政の運営にかかる経費
土木費	10億5,685万円	道路、河川、公園などにかかる経費
教育費	7億7,137万円	小・中学校、生涯学習スポーツにかかる経費
公債費	6億6,714万円	町債の返済にかかる経費
消防費	4億1,286万円	消防、救急にかかる経費
議会費	1億2,076万円	議会の運営にかかる経費
商工費	8,653万円	商工業、観光にかかる経費
農林水産費	8,440万円	農業・林業・水産業の振興にかかる経費

審査 意見

各課の審査ごとに、
委員から多くの意見や
要望が出され、それを
精査し審査意見として
町に報告をする。町は
今後の事業執行にあた
り検討事項とし、努力
することになる。

元化を進められたい。

④都市マスタープラン
策定は、町民や議会
と意見交換を行いな
がら進められたい。

⑤一次予防事業につい
ては、その重要性を
町民にアピールさ
れ、健康寿命や医療
費抑制を図られたい。

①子育て支援において、
保護者の満足度を高
め、先進自治体とな
るような気概をもっ
て取り組まれたい。

⑥コミュニティバス及
びデマンドタクシー
の利用者が少ない現
状を改善すべく、抜
本的な見直しを含
め、早急な対策を講
じられたい。

②総合計画が確実に進
められるよう、各課
横断的な調整を進
め、さらにまちづく
り総合調整事業を拡
充されたい。

⑦子育て支援事業の中
核をなす保健センタ
ーは、利用者の満足
が得られるよう早急
な修繕により、延命
化を図られたい。

③公共施設は、各課横
断的な施設管理と運
営により、施設の最
大利用と経費の適正
化に向け、さらに一

⑧袖が浦プールは、有
料利用者が少ないま
ま推移しているの
で、速やかに廃止さ
れたい。

賛成討論

近藤行宏議員

情報収集と慎重な対応で 将来を見据えた執行を評価

一般会計歳入で、自主財源の町税が前年度比、0.1%の増となったが、法の減収となる。収納率は

0.6ポイント増となり、評価に値する。

歳出面では、物件費などの消費的経費を抑制した努力が認められ、行政改革の成果が表れてきたものと評価する。教育費においても、小・中学校の改修工事により教育環境の一層の改善が図られたことは大いに評価する。特別会計の後期高齢者医療・介護保険の伸びが引き続き顕著である。今後は、高齢者の増加を見据えて健全な会計運営堅持のため国民健康保険を含めた医療費・介護給付費の抑制に不断の努力を期待する。

賛成討論

根岸ゆき子議員

ピンチをチャンスに切り替える施策が動き始めた

町には課題山積、小手先では変えられない。事業は継続的發展につながるものとして評価する。まちづくり総合調整事業は意思決定の場として中心となっている、牽引役を期待。ごみ処理事業は見える形で施設配置の変更や整備がされ、長年の不安定から安定化へつなげた。高齢者・健康福祉については、予防事業や



みんなイキイキカラオケ体操

反対討論

脇 正文議員

場当たりのな予算執行で 一般会計決算に反対

東京大学果樹園、小児病院、正泉寺各跡地について将来構想を含めた積極的検討が成されず、維

持に無駄な税金がつぎ込まれていることに反対。将来を見越した策や計画を持たず土地購入を行う施政の実行力にも問題がある。(仮称)剪定枝資源化施設を給食センター隣につくることに絶対反対。商店街景観形成事業ハンギングバスケットが商店街の消費機会の拡大、活性化に繋がるとは思えず、税金の投入は間違っている。毎年約1千万円もの赤字を出し続けるコミュニケーションバス運行事業に早急に手を打ってこなかったこと自体に問題がある。自分の金ではないからと言うような安易な使い方や対応が強く感じられる。4特別会計には賛成。

平成25年度 5会計の 決算討論

最終日の本会議で 4名の議員が賛否を表明 「25年度 決算の認定」を評価

反対討論

浅賀一伸議員



暫定利用する団体で草刈り
(東京大学果樹園跡地)

福祉・医療をもっと充実 できたのではないか

一般会計について、町民アンケートでは「福祉・医療が充実した町」を求める声が一番多い。町はこれを指針として努力されることを求める。町は毎年2億5千万円ほどの次年度繰越金を残しており、そのうちわずかな金額を使えばもっと福祉充実できたと考え反対する。

国保会計は、全国的に

一般会計から国保会計への繰り入れを行い住民負担軽減を図る中、町はその余力があるにもかかわらず行わない、相変わらずの冷たい姿勢に反対。後期高齢者医療会計は、制度自体が社会保障にあるまじきものと考へ、反対する。介護保険、下水道事業会計には賛成する。

議案・陳情に対する賛否

	小笠原陶子	西山宗一	杉崎俊雄	浅賀一伸	神保順子	桑原英俊	脇正文	添田孝司	根岸ゆき子	近藤行宏	二見泰弘	三橋智子	結果
町長提出議案名(左は議案番号)													
26	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
28	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
29	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
30	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
31	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
32	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
33	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
34	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
35	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
36	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
37	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
38	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
39	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
40	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
41	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案(左は議案番号)													
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情名(左は陳情番号)													
5	△	△	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	趣旨採択
6	△	△	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	趣旨採択
7	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択
8	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択

※議案番号26～41について、○は議案に対する賛成、●は反対したことを意味しています。

※陳情については、○は採択、△は趣旨採択、●が不採択を意味します。

※小笠原副議長(議長代行)を除く11名の議員の賛否状況です。(議員定数14名のうち、2名欠員)

公共施設白書を活用し、早期に管理一元化を進め、公共施設の維持更新について抜本的対策を図りたい

公共施設の財産管理と運用を一元化するために、各課から公共施設課に体育施設などを所管変更している。しかし人事や機構の抜本的な改革を伴うため、今後数年の期間を必要とする。各施設の老朽化や使用状況を調査検証した後、26年度に再配置計画の策定を行う予定である。

地域防災計画の行動計画を策定し、地域の提言を受け止め、実行に向け予算化を図りたい

地域防災計画を受け、役場庁舎、各担当の具体的な行動計画策定のため、町の防災訓練の時を中心に問題点を検討し協議を重ねている。同時に行政運営をいち早く回復させるため、事業継続計画（BCP）策定も進めている。



温水プール

コンビニ収納導入にあたっては、費用対効果を検証しながら、作業や経費のスリム化を図りたい

サービス開始に当たり、電算システムの操作・運用の検証を進め、滞りなく26年度に導入した。入金確認が速やかにできるようになり、事務作業の効率は向上した。利用者の利便性と滞納者対策が主な目的であるが、今後も費用対効果の検証を行っていく。

学校教育では英語教育を町の特徴とし、更なる充実を図りたい

※ALTの配置を工夫し体制を強化した。英語力アップのきっかけとなるよう中学3年生対象で英検の検定料を補助している。25年度の英検3級以上の取得率は38.8%であった。継続して英語の学習意欲の向上を図りたい。

※外国語指導助手



リフォーム補助事業は耐震化など目的が多様化しているため、目的に優先順位をつけた補助事業とされたい

リフォーム工事は、受け付け順に審査し決定をするので、優先順位を決めることはできない。25年度に新たに加わった耐震化や太陽光設置の工事は、いづれも1件ずつであった。

児童相談・そだれん事業を町民にアピールし、児童虐待防止に努められたい

怒鳴らない子育て練習講座（そだれん）は入門編を開催し、より多くの方に呼びかけ、夫婦での参加があるなど対象の幅を広げた。新たに児童相談員を置いたことで、虐待対策などにタイムリーな対応ができ、その効果は大きい。子ども育成課で専門家を中心に1つ1つの事例ごとに、丁寧に協議を重ね問題解決ができています。

※6次産業化について、若い世代が参入できるように生産・加工・販売の一体化を進められたい

若者の就農支援の相談過程において、その生産が加工・販売につながるよう支援策の提供をしている。特産物の普及奨励として、落花生を町内業者に卸す補助事業を行っているが、6次産業化にはまだ長いスパンでの取り組みが必要である。



カンナ作業所で落花生のからむき

※農業や水産業などの第1次産業が食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態

職員の専門性を高めるための研修参加を促し、必要な費用の予算化を図られたい

市町村研修センターの研修を中心に48の講座に延べ102名の職員を派遣した。職員の人材育成と行政運営の効率化が目的で、予算内での実施ができています。研修後の業務姿勢から、その効果は認められる。

9月の 議会で 決まったこと

子育て支援新制度で基準定める

■家庭的保育事業の設備及び 運営に関する基準を定める条例

家庭的保育、小規模保育、居宅訪問型保育、事業所内保育の4種類の比較的小さな保育事業について、設備及び運営に関する基準を定めて給付の対象とするため。

問「非常口・非常階段の確保はされるのか」

答「小規模保育では屋外階段が活用できる形」

問「町施策への運用は」

答「駅周辺で施設環境を整える」

反対の討論として、「これまでの基準で認可保育園を増やせばよい。無資格者参入の危惧がある。これは待機児童解消にはならない。規模が小さいのは危機管理にも欠ける」賛成の討論として、「少子化対策、多様なニーズ

■特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の 運営に関する基準を定める条例



豊かな保育制度ですこやかな育児を

認定こども園、幼稚園、保育所の3事業について運営に関する基準を定め、給付の対象とする。

問「保護者負担に差は」

答「上乗せ徴収できる規定だが無茶はできない」

問「関係者と事前協議をしているか」

答「やっている。全保育園は移行しないといけないので個別に話をする。全幼稚園は27年度は現状のままで行く」

反対の討論として、「今までの基準でやるべき。営利目的の民間導入は公の責任とれず格差が生じる。この基準では災害時にどうするのか、町の責任は重大だ」

賛成の討論として、

「町が施設の確認を行うことから保護者の安心も得られ、町の斡旋、養成に対する協力義務も定められ町と一体となった運営ができる。子育て支援充実に不可欠である」

関係法律の施行日から施行。

本会議では、10対1で可決

大型ごみ等の個別収集が始まる 個別収集の手数料が新たに決まる

■廃棄物の減量化資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正

平成27年4月から施行されるもので、大型ごみは1個につき千円、45ℓ袋以下は1個又は1袋五百円となる。

問「条例制定の理由と高齢・障がい者の対応は」

答「持ち込むゴミを持つていけない時、町が収集業者を紹介している現状。それを補完したいのが主な目的。2点目についてはシルバー人材センターの業務を紹介し、手数料は減免措置を考える」

問「町負担や採算性は」

可決

「住民ニーズに応える施策、利便性、価格の妥当性があり新しい収集法である」

本会議では、10対1で可決

「年間一千件を想定」

問「ニーズの把握は」

答「地域説明会を回り、助かるとの声を聞く」

反対の討論として、「ゴミ出しが困難な方が出せるのは良いが、加えて処理量負担の増は強いべきでない」

賛成の討論として、



大型持ち込みごみの集積所
負担が重いのか、軽いのか、判断を

補正予算

ふるさと納税開始に意欲

総額2億9千万円の追加 全員賛成で可決

一般会計

予算総額に歳入・歳出それぞれ1億2千364万3千円が追加された。
歳入は、前年度繰越金が7千987万3千円、地方交付税増1千874万3千円、介護保険特別会計繰入金増1千294万4千円が主なもの。
歳出は、ふるさと納税事務委託料30万円、財政調整基金積立金8千万円、予防接種事業559万円、降雪災害緊急対策事業補助金304万7千円、予備費1千591万9千円など。



雪により甚大な被害
農家に降雪災害緊急対策補助金

質疑の主な内容は、

問 ふるさと納税事務委託理由と委託先はどこか。

答 ふるさと納税の特典品を送る制度とすると職員の仕事量が増え、今年の12月を目指して行うにはノウハウのある事業者に委託したほうが迅速に行える。委託事業者はこれから検討する。

問 ふるさと納税事務委託は具体的にはどうするのか。

答 企画・提案や特産品の選定や、ホームページの立ち上げ・寄付金の対応、受付などを全部委託する。また、商工会との調整もお願いする。事務委託により事業推進が効率的になる。

国民健康保険特別会計

歳入の主なものは、国保システム改修に伴う特別調整交付金増596万1千円、療養給付費交付金増1千634万7千円、前年度繰越金増4千75万8千円。
歳出は、国保システム改修負担金増653万4千円、過年度の清算による国庫支出金等返還金増2千842万4千円、一般会計繰出金増366万9千円が主な内容。

介護保険特別会計

円、予備費に2千379万2千円増額する内容。
歳入は繰越金の8千126万円などで、介護給付費準備基金積立金に4千927万円、清算に伴う国庫支出金等返還金増1千727万円を歳出する内容。

下水道事業特別会計

歳入は社会資本整備総合交付金増400万円、前年度繰越金383万3千円で、歳出は消費税及び地方消費税増85万9千円、資材単価や労務の高騰に伴う汚水枝線工事増690万円など。

後期高齢者医療特別会計

前年度繰越金2千436万2千円の歳入を、一般会計繰出金増28万4千

臨時会

7月17日開催

議会推薦の農業委員

議会推薦の農業委員3名が全員賛成で決まった。
◇峯尾 博（現・通川句）
◇鈴木健次（新・妙見）
◇根岸ゆき子（新・緑が丘）
農業委員の定数は14名。公選で10名、議会推薦3名、農協推薦1名で構成される。
任期は3年（敬称略）

人事

固定資産評価審査委員会委員に

武田圭子氏が再任

武田圭子氏を選任するため、全員賛成で同意。
武田氏は二宮在住で59歳。人柄においても極めて誠実で、公正な判断の持ち主。二宮町の税務行政に精通している。
任期は3年。

教育委員会委員に

吉田美佳子氏

飯塚富美氏の任期満了に伴い、吉田美佳子氏が委員に任命され、全員賛成で同意。
吉田氏は緑が丘在住で54歳。教育現場での教師の経験を生かし、二宮町健康づくり普及員や、コミュニティ保育「てくてく」の保育者など、地域において活躍されている。
任期は4年。

議員提案で

国に意見書を提出

■軽度外傷性脳損傷者に関わる周知と 労災認定基準の改正などを求める意見書

軽度外傷性脳損傷とは交通事故や高所からの転落などで、頭部に衝撃を受け、脳の情報伝達を担う神経線維が断裂して発症する病気である。しかし日本の医療界では認識されておらず、受傷者が自覚症状を示しても、MRIなどの画像に映りにくいため労災や自賠責

保険の補償対象にならず、経済的に追い詰められているケースが多い。

その現状を変えるために、労災基準の改正や、診断方法の確立、またこの病気を理解し正しい治療ができるように、医療関係者や教育現場に周知するよう求めたもの。

■「地震防災対策強化地域における地震対策 緊急整備事業に係わる国の財政上の特別措置 に関する法律」の延長などに関する意見書

昭和55年に制定された「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係わる国の財政上の特別措置に関する法律」は地方公共団体が実施する地震対策緊急整備事業に係る経費に対する国の負担や補助の割合の特例、その他、国の財政上の特別措置を講ずるも

ので5年ごとに改正される。平成27年3月に有効期限が切れるため、その延長を国に求めるもの。二宮町では今後、消防施設整備などの耐震化でその対応が期待できる。関連2法の対策支援拡充も併せて要望した。

平成27年度における

「重度障害者医療費助成制度継続」についての陳情

趣旨採択 10対1

提出者は中郡腎友会。陳情趣旨は障害児者・透析者の負担が少なく医療が受けられるよう予算策定を求めるもの。

「65歳以上の高齢者については後期高齢者医療や自立支援医療制度の中でも障がい者に対する医療費負担軽減策がとられている。また、介護保険でも介護サービスが提供されている。今後内容の

検討が必要と考える」

「増税された消費税は全額社会保障に充てる約束となっている。手厚い補助制度を要望すべきと考える」など討論があった。

平成27年度における

「慢性腎臓病及び生活習慣病対策」についての陳情

10対1

趣旨採択

提出者は中郡腎友会。

陳情趣旨は慢性腎臓病の予防や重症化を防ぐために、より一層の啓発活動を若年層などへ広域に展開する予算策定を求めるもの。

「町では、さまざまな

平成27年度における

「療養介護施設における透析治療の在り方」

についての陳情

不採択 10対1

提出者は中郡腎友会。陳情趣旨は低料金で利用できる「透析介護施設」の設立に向けての対応を求めるもの。

「介護透析の診療報酬が一般の外來透析に比べ減額されてしまったため、などの討論があった。

中国による「南京大虐殺」「従軍慰安婦」のユネスコ記憶遺産への申請に強く抗議し、日本政府に対し、登録阻止に向けて万全の措置を求める意見書を国へ提出することを二宮町議会に求める陳情

不採択 全員賛成

提出者は幸福実現党 平塚後援会。

陳情趣旨は、中国による記憶遺産への申請に強く抗議するとともに、日本政府に登録阻止に向けて全力を尽くすよう国へ意見書提出を求めるもの。

問 官房長官が、抗議の上、取り下げるよう要請すると言っている。一地方議会が口を出すのは如何なものか。

陳情はどうなった？

取り組みを進めている。

陳情理由から、参考になる部分は今後の議論の必要性を感じており、現行事業の検討は必要と思うが、敢えて予算化までには至らないと考える」

「広く周知することは大切である。是非、進めべきだ」など討論があった。

答 中国は取り下げないと言っている。その後、どのような行動を取られたのか、具体的な措置は言っていない。

審査結果として、戦争中の事実関係について、陳情者と見解の相違があり、今後政府の動向を注視する必要があると判断し、不採択とした。



町政を問う

一般質問

9月18日の本会議では、
4名の議員が4件の問題を行政側に質問した。
記事は本人の原稿に基づくもの。(通告順に掲載)

4名の議員が登壇

	議員名	一般質問の通告内容
1	桑原 英俊	安全安心なまちづくりに必要な防犯カメラについて問う
2	二見 泰弘	子ども・子育て支援制度(認定子ども園)の問題について問う
3	三橋 智子	豊かな老後のために、日常生活を健康に過ごせる「健康寿命」を延ばすための施策を問う
4	神保 順子	町のエネルギー政策について

桑原 英俊 議員



問

安全・安心な町づくりに防犯カメラの設置を

答

カメラの機能を精査し、積極的に設置したい

問 二宮町の安全・安心な町づくりに防犯・防災カメラの活用をどのようにされているのか、また、犯罪を抑止するための環境づくりが必要なので、防犯カメラを早急に増設すべきだと考える。町の対策を伺う。

町民生活部長 防犯・防

災カメラの活用は、防犯面では、町内8か所に設置しており、犯罪発生を抑止と治安の向上を図っている。

警察から犯罪捜査の要請があれば、映像データの閲覧や提供を行っている。

防災面では、町内2か所に設置しており、洪水対策として葛川河川水位の監視、また、梅沢海岸のカメラでは、波（高波・津波）の監視を行っている。

問 危険な犯罪から子どもたちを守るために犯罪予防や犯人逮捕に結びつく環境づくりが必要であ



梅沢海岸、高波・津波の監視カメラ

る。通学路における児童・生徒の防犯対策を伺う。

教育次長 学校において

は、児童生徒への防犯指導を随時行うとともに、小学校では、定期的な通学路の安全点検、集団登校と地域ごとの集団下校、登下校時における教

職員による巡視、地域の方々の見守りなどを行っている。

「子どもSOSの家」

の設置をお願いし、いざという時の体制づくりにご協力頂いている。

問 防犯カメラは、犯罪

抑止を目的とするものであるが、防犯カメラの活用はプライバシーや個人情報

情報の取り扱いに十分留意することが必要である。個人の尊重を侵害することなくルールをつくり、運用することが必要

であると思うが、町の考

えを伺う。

町民生活部長 防犯カメ

ラを設置することによりプライバシー権・肖像権の侵害にならないよう、適切な設置、管理をする必要がある。

今後、二宮町でも神奈川県

の防犯カメラの設置、管理に関するガイドラインに基づきルールをつくり、管理をしていきたいと考える。

問 町長の選挙公約の一つとして、防犯カメラの増設を挙げているが、総括として防犯カメラの必要性があるのか町長の考えを伺う。

町長 必要があるから公

約に書いてある。コンビニで犯罪をしようとする人の足取りが見えないので、商店街や、大型店にお願いしたい。設置するには、助成金・補助金を使

い、防犯カメラの機能を精査して、ぜひ積極的に設置していきたいと思っている。



「まもる君」ラディアン前に設置

二見 泰弘 議員



問

子ども・子育て支援新制度（認定子ども園）を問う

答

幼稚園5園は、現時点新制度に移行しない



待たれる認定子ども園へ移行の幼稚園

問 新制度では、子ども・子育て支援に関して調査審議するため、子ども・子育て会議の設置をしなければならぬが、委員会の進捗状況と、委員選出構成は。

と、策定が任意となった
次世代育成支援行動計画をあわせて策定する方針で、計画内容の審議を進めている。委員は15名で、保護者5名、うち公募が3名、教育保育関係者が5名、地域活動の関係者が2名、その他3名で構成。



お母さんが安心して仕事に行けるね

子育て担当部長 平成25年6月議会で設置条例を制定し、今年度は5回の開催を予定、新たに策定を義務付けられた子ども・子育て支援事業計画が特例を設け、認可・認定を行える。市町村によつては、認定こども園への移行に伴い必要となる施設整備への財政支援や保育所等への配慮から、幼稚園等が認定こども園へ移行することに、消極的であるが、移行状況は。

子育て担当部長 現時点で町内の幼稚園5園とも平成27年度の新制度移行は予定していない。二宮町はこれまで4月時点で

おける待機児童は0であるが、近年、年度途中で若干の待機が発生している。保育園は定員を超えて受け入れている状況である。

問 新制度では、私立幼稚園に在籍する子ども（1号認定）に対する施設型給付は、当分の間、地方単独で措置しなければならぬが、この部分は国の示す水準に基づき、地方財政措置が講じられる。新制度の目的でもある幼児教育の提供体制をしっかりと確保するため、二宮町でも、私立幼稚園等に支給する施設給付は、この地方単独部分を含め、国が示す水準に基づく施設給付を支給すべきであるが、町の考えは。

子ども育成課長 国は公定価格の仮単価を示したが、それは消費税10%を想定したものであり、平成27年度の単価は未定である。現在、実際に適用される公定価格も、国庫負担対象額も未定である。

問 私立幼稚園が円滑に新制度に移行できるようにするため、現在預かり保育を実施している私立幼稚園に対しては、町として「一時預かり事業」を委託すべきと考えるが。

三橋 智子 議員



問

長寿社会を支える「健康寿命」延伸の施策を問う

答

国保データベース
KDBを活用し効果的な保険事業を展開

問 厚労省の白書では、自立して生活ができる「健康寿命」を延ばすことが、医療・介護費抑制につながると示した。県も「未病を治す神奈川宣言」を発表し、県民の価値観を変えたいとしている。健康寿命日本一を目指す県との連携はあるか。

健康福祉部長 東洋医学の視点から健康づくりを考えた「未病チェックシート」を、町のホームページとリンクさせ、広く町民に活用を促したい。

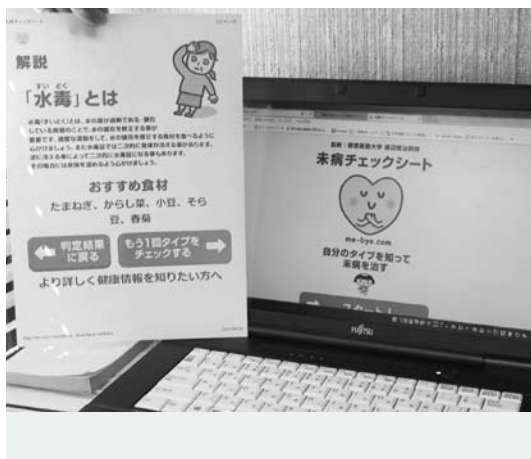
問 健診で未対策になっている20歳から39歳までの世代に、健康への関心を高めるきっかけ作りとしていただきたい。

レセプトのオンライン化に伴い、国はそのデータを分析し活用できる国保データベース(KDB)を構築している。町の導入体制はどうか。

健康福祉部長 平成26年12月から本格活用ができるよう、準備を進めている。個別の健康状態を把握でき、疾患別の対策が可能になるなど、活用の幅が広いので、効果的な運用を考えていく。

問 町の医療や介護の見える化に、期待したい。

健康福祉部長 県は平成34年までの10年計画を策定し、健康分



健康チェックが気軽にできます
(神奈川県のホームページより)

野53項目の目標を発表した。町の2次計画は特定健診のみが重点になっているが、他の計画や目標はどこに示されるのか。

健康福祉部長 現在策定中の「健康増進計画」と「食育推進計画」に他の施策の目標値を示し、平成27年度からの10年計画として運用する。

問 高齢者が運動不足で

亡くなるロコモティブシンドローム(ロコモ)が問題になっているが、町の認識はどうか。

健康福祉部長 メタボの内疾患に対し、筋力などの低下である「ロコモ」対策にも、町は従前から取り組んでいる。2つの柱として考えている。

問 子宮頸がん予防ワクチン接種の際に、検診の重要性を多くの町民が学

んでいる。意識が高い時に、的確な周知を図ることが効果的だが、町の見解はどうか。

保険医療課長 コール・リコール対策で、未検診者に再度検診を促しているが、若い女性への受診勧奨の方法を考えたい。

問 介護予防を目的とした「介護支援ボランティア」にポイントを付与し、見返りをつけた施策が各地で好評を得ているが、町の見解はどうか。

健康福祉部長 基本的にボランティアは無償の社会奉仕だと捉えている。町としては他の介護予防施策を充実させていく。



介護予防のころばん塾でロコモ防止

神保 順子 議員



問

町はエネルギー政策をどう進めていくのか

答

住民への普及促進から町施設への設置に変更

問 東日本大震災における原発事故から3年半が経過した。同じ過ちを繰り返さないために各自治体でも再生可能エネルギーへの転換が進められているが、電力消費に対する意識を変えることも重要である。電力消費のピーク時において全体の約70%を占めるといわれる企業や自治体の電力を削減していくことで大きな効果が出ることから、公共施設全体の設備を見直すことが必要と考える。

総務部長 町では23年度に「節電対策方針」を定め、町施設の使用電力の抑制に取り組んでいるが、職員の健康面への配慮等を考慮すると、目標の15%をクリアするのは厳しいと考えている。

問 現在、市民運動での取り組みとして「電気をカエル計画」がある。照

明や空調機器を更新することで大幅な節電と経費の節約による節税が可能である。リースも可能であることから初期投資も必要なく、また短期間でのコスト回収ができることなどメリットも大きい。今後、公共施設の再配置計画を進めていく中で、これらの事例を参考として設備の改修についても取り組んで頂きたい。

次に環境基本計画に位置づけられる「町民・事業者・町による計画推進の運動づくり」から、町民で組織される環境NPOと、茅ヶ崎市をモデルとした公共施設の屋根貸しについての協議が進められてきたはずだが、現在どのようにつながりが図られているかを伺う。

町民生活部長 資金や運用の面から町と団体との



実効性のある計画を立て
着実に進めることが大切

考えに違いが発生してしまった。

問 NPO団体からの働きかけで、数年間にわたって町と団体が勉強会や視察などを行い、協議を積み重ねてきた。環境基本計画には「人材や団体の育成」や「運動づくり」が書かれている。資金や運用の面に関してもNPO団体だけにスキームを求めるのではなく、行政と団体が共に知恵を出し合い取り組んでいくことが町のエネルギー政策を進めていく上で必要ではないのかと考える。

町民生活部長 町の考えが伝えきれず不信任に至ってしまったことは非常に残念だと思っている。今後は行政としての役割を認識し、話し合いを進められればと考える。



電気をカエル計画

電力自由化と、トクする節電を自治体・産業界に広げます

市民から広がる節電運動を町でも取り組むことが必要

3課題について報告書作成

梅沢海岸及び背後地整備調査結果から人工リーフの約30%の消波効果が確認された。執行者側より、「梅沢海岸背後地整備構想（素案）」が基本構想であること、また、基準点を設置し、測量を行い、平成27年度に「二宮漁港用地利用計画」を

公共施設更新

地域集会施設に重点を置き、5地域集会施設視察も含め、利用状況と施設状況を調査・検討した。利用状況の詳細な資料がなく、現在進行中の浜銀総研と町の調査に基づく施設カルテ作成を待たなければならず、提言書策定には至らなかった。施設の延命化や更新に際しての条件として、バリアフリー化、複数小部屋の設置、駐車スペース確保等意見を集約した。

東京大学果樹園跡地本格利用

防災公園の機能を備えた農園やレクリエーション施設を複合した3世代が楽しめる交流の場として整備することが望ましい。また、公共施設の更

新に合わせた施設整備の検討も必要であるとの結論とした。



急な階段で老人憩の家とは…
地域集会施設のバリアフリー化を望む

教育福祉常任委員会

「子ども条例」策定に向け取り組みことを提案

教育福祉常任委員会では、「子育て」をテーマとし、これを取り巻く問題について調査研究を進めてきた。

民生委員児童委員、教育支援室「やまびこ」の話し合いから、自分を認められない等、個々の内

面的な問題等子どもの悩みの原因が変化し、子どもに対する問題が深刻化してきていること、また、親も深刻な悩みを抱えていることが分かった。

町は子育て施策において該当する部・課が連携・

協力して様々な事業を行っているが、それらは全て行政や大人から視点で当てたもので、子育てに対する様々な問題を解決していくには、子ども目線からみた施策も必要。視察研修から「子ども条例」が、子ども施策を充実させるための後押しになることが分かった。当委員会が出した結論として、町は条例を策定するまでの過程に重点を置き「子ども条例」を策定することが重要である。「主体である子ども達にもとより、子ども達に関わる大人すべてが条例の目的・必要性について議論を行い、その声を行政は受け止め、町民参加のもと、町が主導となって条例の策定を行なうこと。また町民への周知徹底を図ることにより町全体で子どもを育むことのできる、より実効性のある条例策定に向けて取り組みること」を提案する。

また、「町立小中学校の将来ビジョン」は、次期教育福祉常任委員会の研究調査テーマとして委ねたい。

池田 宏議長を悼む

池田議長は本年8月30日、享年76歳で逝去されました。平成18年11月から町議会議員となり、2期目の後半で議長職に就き、改選までわずか3か月を残すところでのこの世を去りました。3月議会中体調を崩し入院されましたが、退院後は寸暇を惜しんで公務をこなされていた。今思えばまさに命を削る思いで働かれていたのだと思います。頑固な反面、いつも議員全員への心くばりを忘れない議長でした。本当に残念でなりません。心から哀悼の意を表します。

定例会初日に黙祷



この人紹介



木村千恵子さん(63歳)山西

民設民営児童保育 キスクラつくれよん 多様な保育を実現

二宮小学校から北西に勝負前とよばれる静かな住宅地があります。そこに、平成25年4月「くれよん」が開設しました。

代表の木村千恵子さんは、二宮小学校の学童保育に指導員として6年間勤務しました。3年前に同じ民設民営のトトロの巣が閉鎖することになり、次の担い手にと打診され、小規模学童の良さを引き継ぎたいと、賃貸物件を探し、協力者のもと手頃

な物件に出会いました。木村さんは、20年前からガールスカウトのリーダーです。そこで培った奉仕と協力の精神で、一人ひとりの成長を見守り続けています。取材した日は、8人の児童がグループに分かれ、戸外でどんぐりコマづくりやカードゲーム、漫画を見て遊んでいました。おやつの時間には全員が集まり、上級生が、みんなにお菓

子が行き渡るように、お世話をしていました。この仲間の約束は「自分も他の人も大切にしよう!」です。保護者にとって「安心して働き続けたい」を支える学童保育として、町の子ども育成課と情報交換し、研修の機会も活用しますと、静かに微笑む木村さんが頼もしく見えました。(次年度入所説明会は26年12月1日です。)



学校の遠足で拾ったどんぐりを独楽にします

委員より一言...

2年間楽しくやらさせていただきました。(杉崎)

チームワークだー。(近藤)

何事も楽しむべし。(根岸)

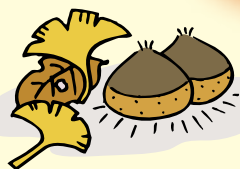
読んでいただきありがとうございました。(脇)

明るい編集委員会でした。感謝。(小笠原)



お疲れ様でした。(桑原)

試行錯誤の連続でした。(三橋)



委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長
三橋	脇	桑原	杉崎	近藤	根岸	ゆき子
智子	正文	英俊	俊雄	行宏		

編集室だより

議会だよりの委員長としてあつという間の2年が過ぎました。町民の皆様に、より見やすい紙面作りをと心がけて参りました。無理難題を委員と

事務局に投げかけても、必ず良い仕事をしてくれたチームワークに感謝しています。一般質問の紙面の増幅、委員会での陳情提出者との質疑応答と議会報告会の内容、そして委員会活動など、新たな記事

の掲載で議会における数々の変化を感じていただけたでしょうか? 議会だよりの作成経費も入札により削減しました。「読んだよ」のひと声が何よりの励みでした。改選後の議会だよりも宜しくお願いします。(根岸)